

今週のメニュー

■トピックス

◇PVC News No.107 号を発行

塩化ビニル環境対策協議会

■随想

◇知ってそうで知らないシロアリの話 ②

株式会社テオリアハウスクリニック 平 一暁

■編集後記

■トピックス

◇PVC News No.107 号を発行

塩化ビニル環境対策協議会（JPEC）は7月12日に [PVC News No.107](#) 号を発行しました。今号の特集は「建材（省エネ）」がテーマです。巻頭では芝浦工業大学秋元孝之教授に登場していただき、3年前にVECで立ち上げた「ZEB/ZEHの実現を考える会」の取り組みと、研究成果として取りまとめた小冊子「ZEBの実現のために～樹脂窓による省エネルギーと快適・健康な室内環境の実現」について熱く語っていただきました。

今号の内容は以下の通り。

○特集：建材（省エネ）

巻頭インタビュー：ZEB/ZEH 進展の鍵は「標準仕様になること」
窓業界はより良い製品の開発に努力を

レポート1：まるでガラスの壁。(株)LIXILに見る窓断熱の最先端事情

レポート2：省エネ・省CO2の実現に取り組む、

JA 長野厚生連 浅間南麓こもろ医療センター

レポート3：遮熱&健康効果で、高まるオーニングへの評価

○リサイクルの現場から

塩ビ管リサイクルの現場から～(株)ムサシノ化学の挑戦

○インフォメーション1

進化する粘着技術。デジタルプリント壁紙など注目の製品も

○インフォメーション2

東ビ商新理事長、福栄産業（株）福澤社長にインタビュー

掲載記事の内容について以下に概要を紹介します。

レポート1では、樹脂窓を手掛けている(株)LIXIL を取材し、高断熱窓の製品開発の取り組みについて紹介しています。同社の樹脂窓及びアルミ樹脂窓（ハイブリッド窓）の比率は2018年に7割を超え、全国展開を推進しています。

レポート2では、省エネ・省CO₂の実現に取り組んでいる長野県の浅間南麓こもろ医療センターを取材し、新装病棟に樹脂窓を採用するなど省エネへの取り組みが国土交通省の「住宅・建築物CO₂先導事業（2014年度）」に選定され、その成果を紹介しています。

レポート3では、最近「動く日陰」として注目を集めている移動式オーニングを開発したBXテンパル(株)を取材し、オーニングの機能は日除けだけでなく、遮熱効果による省エネ効果も期待されていること、また文化シャッター(株)のライフイン環境防災研究所の取り組みについて紹介しています。

リサイクルの現場では、塩ビ管リサイクルを手掛けている(株)ムサシノ化学を訪問し、北海道のリサイクルをめぐる最新動向や同社の取り組みについて紹介しています。

インフォメーション1では、マーキングフィルムなど塩ビフィルムを手掛けているリンテック(株)を取材して、最近の建材製品の動向について紹介しています。

インフォメーション2では、東京ビニル商業協同組合(東ビ商)の新理事長の福榮産業(株)福澤社長を取材し、同社の取り組みや東ビ商の活動について紹介しています。

ご講読を希望される方は、下記メールアドレスまで、送付先・TEL・希望部数などをご連絡下さい。

info@vec.gr.jp

■ 随想

◇知ってそうで知らないシロアリの話 ②

株式会社テオリアハウスクリニック 平 一暁

わたくし、(株)テオリアハウスクリニックの平 一暁（たいらかずあき）と申します。弊社は1974年に設立したシロアリの防除会社。「何でシロアリ屋がVECのメールマガジンに寄稿するんだ！」というお叱りの声が聞こえてきそうですが、文字スペースの問題もありますので、ご興味のある方はVECさんのホームページ右上の「メールマガジン」という文字をクリック頂いて、[2019年5月23日配信の①が掲載されたバックナンバー](#)をご覧くださいたら幸いです…（汗）

ではまず、世間はシロアリ被害を誤解している！というお話から…

都会人は、とかく「シロアリ」被害を隠す

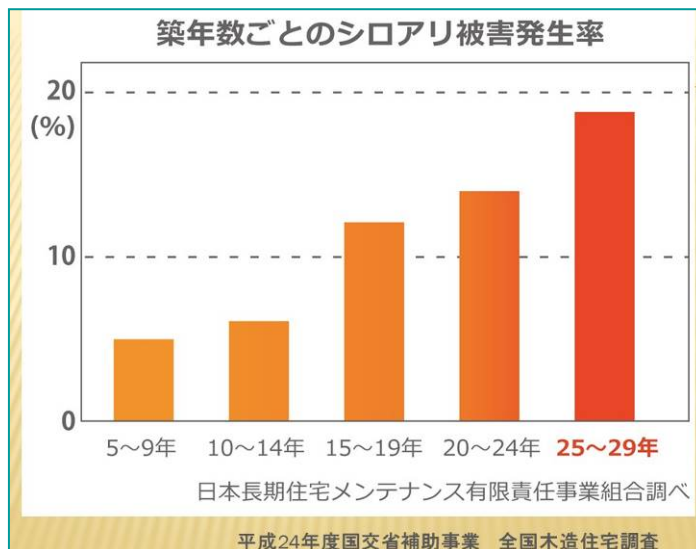
「シロアリの被害なんてホントは稀な事なんだろ。」とよく言われますが、1,000件に1件、10,000件に1件のレアケースと思われている方が、実はたくさんいらっしゃいます。しかし日本全国、どこにでもシロアリは土の中に生息しているので、実際は住宅の築年数に比例して被害発生率は高まります。平成24年度の国土交通省補助事業全国木造住宅調査では、全国3,000棟の木造住宅をランダムに点検した結果、築25～29年の木造住宅では被害発生率は約20%でした。5件に1件の確率です。これが築30年以上になると2件に1件の確率になる！と唱える研究者の方もいらっしゃいます。築浅の5～9年の木造住宅でも5%ですから20件に1件…。シロアリの住宅被害を稀な事と言われる方、

はたしてこの確率はレアケースなの
でしょうか・・・。

都心にお住まいの方がシロアリ被害
に遭ってしまうと、ご近所に対して
被害を口外される方はまずいなくな
りました。昔なら「こんなシロアリ
被害に遭ってしまったので、お宅も
気をつけてね。」と注意を促してい
たものですが、「あの家があんな被
害を出したから、うちもこんな事
になったんだ!」といった後の風評被
害を恐れて事実を隠し、暗黙のう
ちにシロアリ駆除施工を終わらせて
しまう方がほとんどになったので

す。「シロアリ防除会社の社名入りの車では、絶対に駆除に
来ないで!」被害でボロボロになった柱の横で、泣き叫びながらこんな無理難題を訴える
奥様もいらっしゃいました。

火災であれば一目瞭然ですが、シロアリの被害は口外しなければ周囲には判りにくいし伝
わり辛い。「シロアリの被害なんて、この辺りでは見た事も聞いた事もないよ!」と言っ
ているお宅の隣で実は半年前にシロアリ駆除を行っていた、なんて事が普通にあるのは、こ
んな事が原因なのかもしれません。



もう一度、よ〜く地名を見直して

名は体を表す、とよく言われますが、地名もまさに言える話だと思えます。例えば、最
近話題の埼玉に点検に行くと、おじいさんやおばあさんからよくこんなお話を聞きました。
「この辺りは昔は、一面が湿地帯でね・・・。」「ここは沼を埋め立ててできた土地なんだよ。」
以前の埼玉県は、沼や湿地帯が大変多かったそうです。今でも県土に占める河川面積の割
合は3.9%で全国一!埼玉県は「川の国」、と謳っているようですが、それは地名でも物
語っています。

川越、所沢、浦和、朝霞、川口、見沼、川島、妻沼、桶川、八潮、・・・
また、水にまつわる漢字も地名に多く使われています。

窪、谷、島、崎、岸、瀬、井、波、浜、泉、河、清、渡・・・

一方、千葉、茨城になると「この辺は昔、田んぼだったんだよ。」なんて話で、

成田、行田、新田、辺田、平田、幸田、前田、角田、武田、伊保田、下川田、上沼田・・・
と、なんと田の付く地名が多いことか・・・

東京周辺の地域は高度経済成長期の住宅不足の折に、湿地帯、沼や池、田んぼを埋め立
て、住宅地を作り出しました。今でこそ何でもない宅地ですが、地形的に見れば水が集ま
りやすく、溜まりやすく、湿りやすい土地・・・それはシロアリにとっても好環境な土地
と言えます。

更に、山間の雑木林を切り開いて宅地を広げた、という意味での地名は、

東松山、狭山、毛呂山、鳩山、山田、山木、山崎、山倉、山王山・・・

こうなってくると、キリがないですけどネ・・・(汗)

ここで取り上げた字や地名の土地で、絶対にシロアリの被害に遭う、という訳ではなく、
そんな学説も無いのですが、コレは日々点検を行っている我々の何となくの実感です。そ
れっぽい地名の土地にお住まいの皆さま、とりあえずは予防対策は特に万全を期した方が
よさそうです。

江戸時代以前の「シロアリ」対策

今でこそシロアリ対策は薬剤の使用が主流ですが、古来の日本の建物はシロアリ駆除薬剤がある訳でもなく、我々日本人の先祖の知恵の賜物でした。神社の床下でかくれんぼをした、なんて思い出はありませんか？寺社仏閣やお城、位の高い人の住居は、床下を高くして風通しに重きを置き、木束と土の間に束石を置く事で木と土の接触を遮断するなど、薬剤を使わずとも対応できる木造建築物を編み出しました。庶民の家は平屋の長屋が主流



古来の日本家屋 木束と束石



現在の住宅の基礎周りと床下

で風呂は無く、建物の外に共同トイレ。玄関や水場は土むき出しで、シロアリ被害は極力発見が容易で、被害が出ても修繕し易い手軽な構造にしていたのでした。別建ての風呂場にしても床部を宙に浮かせる構造や、石造りの床に「すのこ」を置いて対応し、使用後は「すのこ」を取り出して乾燥できるような工夫をし、絶えず頭の片隅にはシロアリ対策があったのでした。

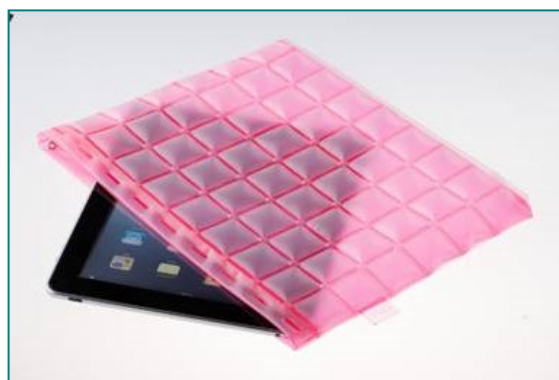
文明の利器、科学の力などとはまた違った、ご先祖様の「生活の知恵」の賜物でシロアリ被害を防ぎつつ、上手く共存していたのだと痛感せずにはいられませんよね。

■ 編集後記

「PVC Award 2019～新しい時代を Create する PVC 製品～」を現在開催しています。募集期間は、6月1日から10月31日まで。今回は、PVCが持っている優れた特長を活かした魅力ある商品を募集しています。対象は軟質から硬質まで幅広く、商品化を予定している試作品も募集しています。奮って応募してください。

詳しくは、webをご参照ください。<http://pvc-award.com/>

(PVC Award 事務局)



PC CELL

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601 ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <http://www.vec.gr.jp> ■ E-MAIL info@vec.gr.jp
